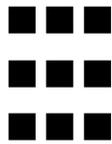


【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。



【国際シンポジウムのご案内】
第6回国際シンポジウム
「農学プロテオーム研究の最前線」



平素より大変お世話になっております。

小松節子先生((独)農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所)より、国際シンポジウムのご案内をいただきました。



【国際シンポジウムのご案内】第6回国際シンポジウム「農学プロテオーム研究の最前線」

プロテオミクス解析技術によって、植物の増殖分化・生長などに係わるタンパク質、環境ストレスにより発現が変動するタンパク質が多数発見されてきました。これらタンパク質の機能を解明すれば、生命の基本現象を人為的に制御する技術やストレス耐性植物の評価等、生産性の高い作物を育成する道が開かれる可能性があります。近年、ゲノム塩基配列情報および生物資源の充実により、多くの生物において機能解明研究が行われていますが、ゲノム情報の不十分な生物種も多く、このような場合、発現しているタンパク質を直接解析するプロテオミクス解析技術は有用です。本シンポジウムでは、国際的に当該分野において第一線で活躍している研究者による講演と一般演題から選ばれた口頭発表、ポスター発表を通して、プロテオミクス技術が農林水産分野の研究にいかに関与できるかを議論いたします。さらに、植物のみならず、食品分野、昆虫・畜産分野、微生物分野の研究者からの演題投稿および参加を期待しています。今年は中国・ハルビンで「第5回中国植物プロテオミクスシンポジウム」と合同開催される運びとなりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

第6回国際シンポジウム「農学プロテオーム研究の最前線」

【日時】2014年6月23日～27日

【場所】中国・ハルビン・Hanlin Tianyue Hotel

【主催】中国・Heilongjiang University

【抄録投稿締切】2014年5月20日

公募による口頭発表とポスター発表を募集しますのでふるって応募ください。

【参加登録締切】2014年4月30日

事前登録が必要ですので忘れずに登録してください。

【申込方法】詳細は下記ウェブを参考にしてください。

http://210.46.108.117/isapr/index_e.jsp

【問合せ先】

Prof. Sixue Chen, University of Florida, E-mail: schen@ufl.edu

日本国内 :小松節子(独)農業食品産業技術総合研究機構作物研究所, Tel: 029-838-8693,

Fax: 029-838-8694, E-mail:skomatsu@affrc.go.jp



【日本プロテオーム学会通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。ご意見を【日本プロテオーム学会通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、日本プロテオーム学会事務局 (cljhupo@secretariat.ne.jp) にお願いたします。